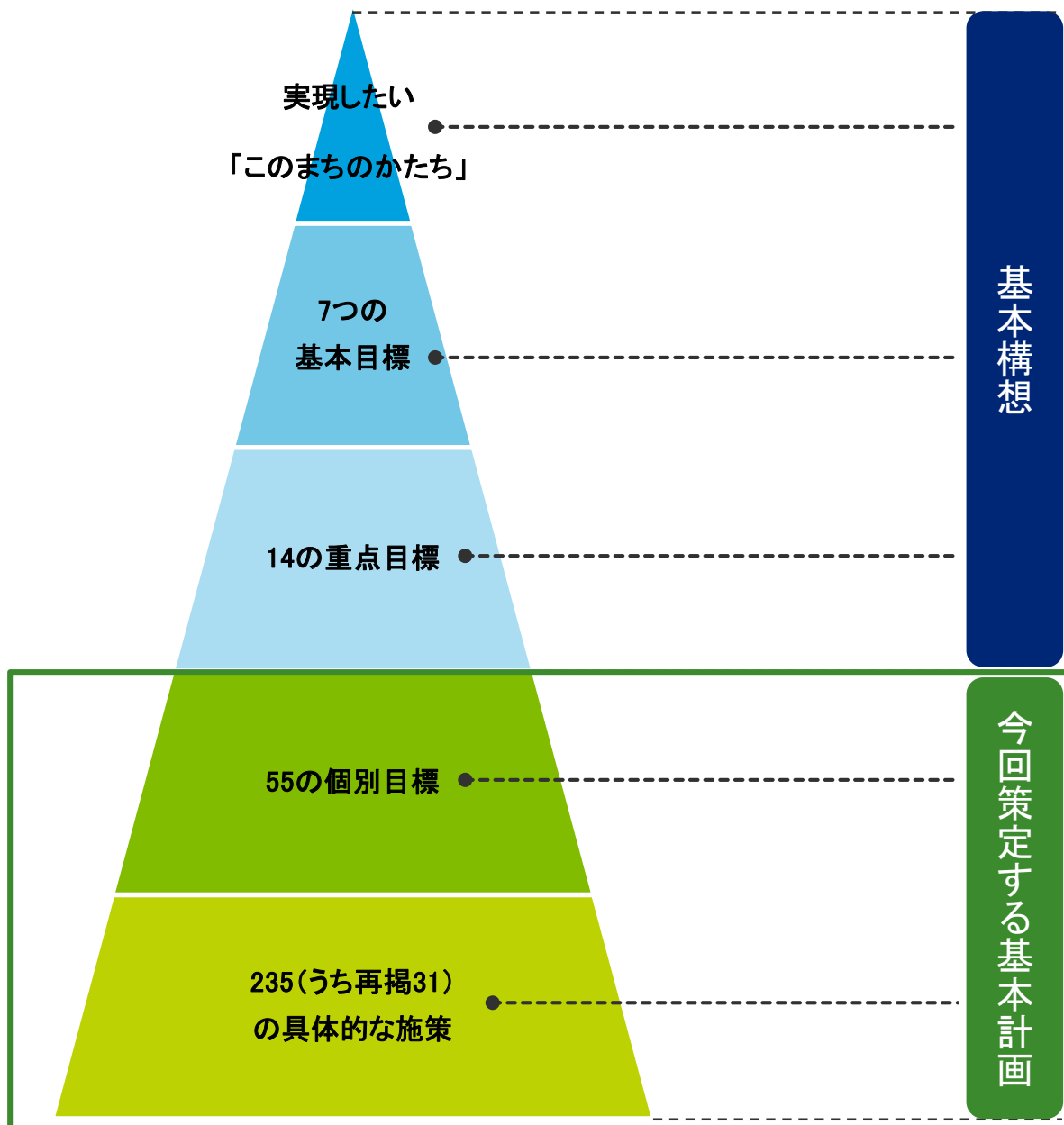


### 第3 基本計画の構成と計画体系

#### 1 基本計画の構成

今回策定する後期基本計画では、7つの「基本目標」と、更にそれらを細分化した14の「重点目標」を実現するために必要な施策を体系的に定めている。



## 2 目標とする「このまちのかたち」

別府市は、昨年(2015年)来、別府市版総合戦略を策定し、総合戦略策定後、直ちに後期基本計画の策定に着手した。

2016年3月のいま、我々は「戦略」と「総合計画」が交錯するという、これまで別府市政が遭遇したことがない歴史の節目に立ち会っている。

「戦略」と「総合計画」に呻吟する中で、我々はいつしか「まちまもり」こそ「まちづくり」ではないか。別府の歴史・伝統・文化・産業を磨き続けることこそが、別府の誇りを再建し、新たな誇りを創生することにつながるのではないかと改めて認識するに至った。

別府の歴史・伝統・文化・産業を磨くということは、とりもなおさず我々が暮らす地域そのものを磨くことである。

そうであるからこそ、我々は、「地域を磨き、別府の誇りを創生する」ことを「このまちのかたち」にしようと決意した。

この総合計画表紙の題字「創」は、別府市長 長野恭紘の手に成るものである。

## 3 まちづくりの基本目標の設定

まちづくりの基本目標は、次の7つの目標とする。

《基本目標1》豊かな自然環境を大切にして、自然とふれあいながら暮らしている。

《基本目標2》地域で支えあい、誰もが健康で安心して暮らしている。

《基本目標3》日常生活が便利で、誰もが快適に暮らしている。

《基本目標4》地域に愛着と誇りをもち、個性を大切にする心豊かな人材が育っている。

《基本目標5》観光資源をいかした多様な交流と産業が育ち、まちに活気がある。

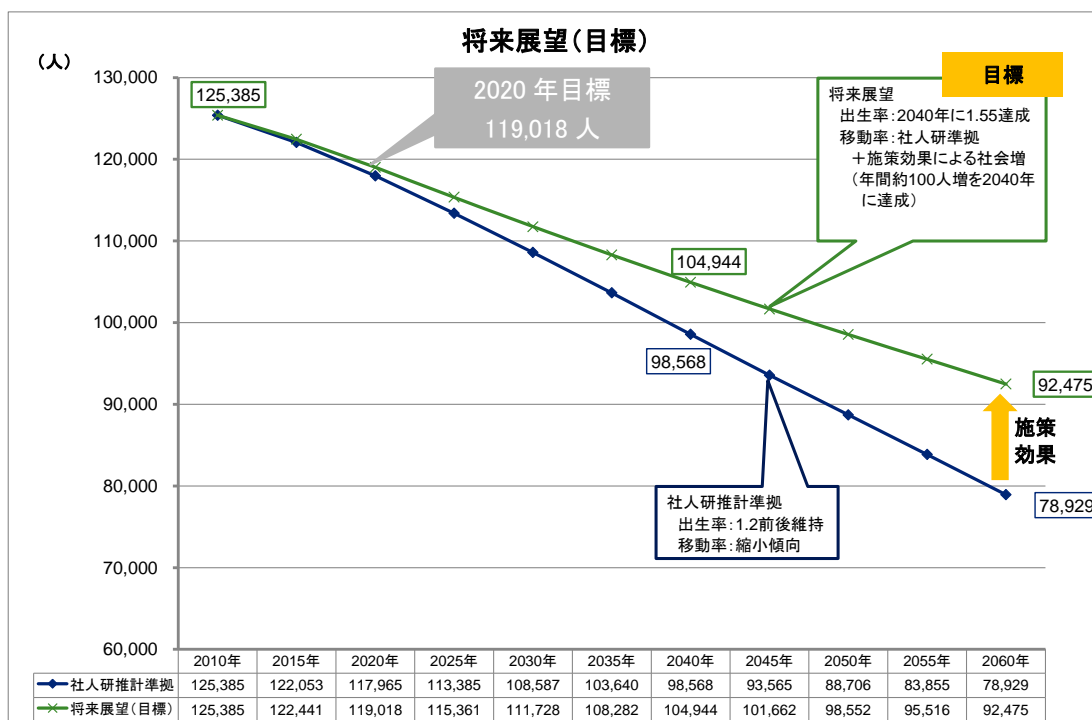
《基本目標6》市民主体の活動が活発で、市民と行政の協働のまちづくりが行われている。

《基本目標7》市民に信頼される市政運営が行われている。

## 4 将来人口フレーム

本市の総人口は、社人研の推計によると、平成 32 年(2020 年)には 117,965 人、平成 52 年(2040 年)には 10 万人を下回ると推計されている。

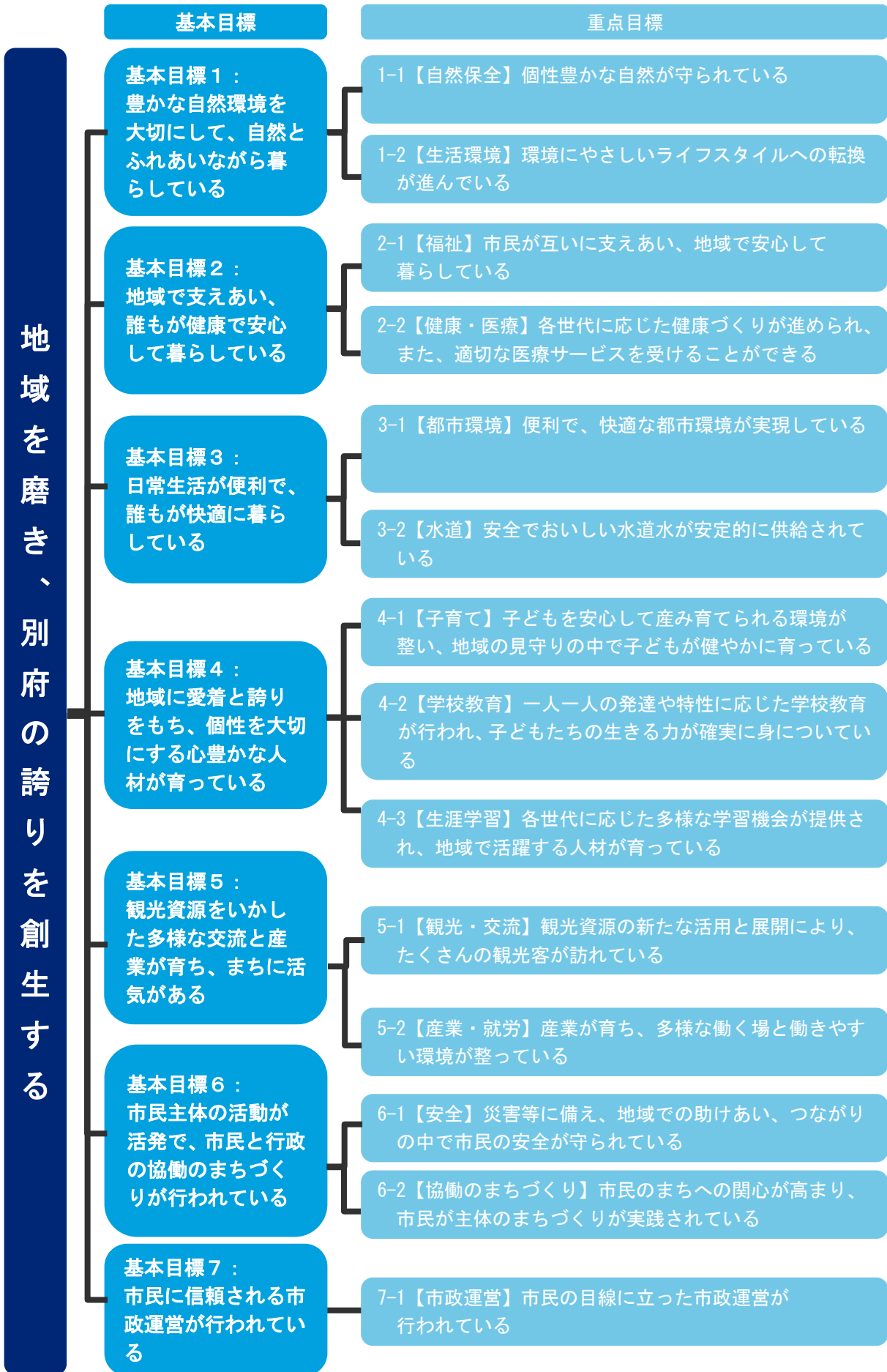
平成 27 年 10 月に策定した人口ビジョンに基づき、総合計画及び総合戦略を始めとする各種計画に基づいた各種施策を着実に実行することにより、平成 32 年(2020 年)に 11 万 9 千人の人口を確保することを目標とする。



出所: 別府市人口ビジョン 将来展望(目標)



## 5 別府市総合計画の計画体系図



個別目標

べっふ未来共創戦略

1-1-1 自然環境の保全

1-2-1 循環型社会の形成への推進

1-2-3 新エネルギー導入の推進

1-2-2 環境保全活動の推進

2-1-1 高齢者の社会参加の支援

2-1-3 地域福祉の推進

2-1-2 障がい者の自立支援

2-2-1 地域保健医療体制の整備

2-2-3 国民健康保険事業の適切な実施

2-2-2 健康づくりの推進

3-1-1 計画的なまちづくりの推進

3-1-3 緑のまちづくりの推進

3-1-5 景観の保全と育成

3-1-7 安全安心な居住環境の整備

3-1-2 海岸や水辺の整備と活用

3-1-4 安全安心な道づくりの推進

3-1-6 生活排水対策の充実

3-1-8 地域公共交通の整備・充実

3-2-1 おいしい水の安定供給

4-1-1 子どもや母親の健康の確保・増進

4-1-3 仕事と子育ての両立支援

4-2-1 幼児教育の充実

4-2-3 特性をいかした人材育成の推進

4-2-5 教育環境の整備

4-1-2 地域における子育ての支援

4-1-4 子どもを取り巻く環境づくり

4-2-2 学校教育の充実

4-2-4 特別支援教育の推進

4-3-1 人権尊重のまちづくり

4-3-3 生涯学習の充実

4-3-5 芸術・文化活動の振興

4-3-2 男女共同参画社会の実現

4-3-4 歴史的・文化的財産の保存と活用

4-3-6 スポーツの振興

5-1-1 観光筋力の強化と推進体制の整備

5-1-3 温泉の保護と活用

5-1-5 交流・移住・定住の促進

5-1-2 観光客受入環境の整備

5-1-4 M I C E 誘致の推進

5-2-1 産業活性化基盤の整備

5-2-3 農林水産業の活性化

5-2-5 働く場の確保と職場環境の整備

5-2-2 商工業の振興

5-2-4 新産業の創出と起業支援

6-1-1 防災・防犯体制の充実

6-2-1 協働のまちづくり活動の推進

6-2-3 大学等教育機関との連携の推進

6-1-2 消防・救急体制の充実

6-2-2 地域コミュニティ活動の推進

7-1-1 利用者視点の窓口サービスの実施

7-1-3 行政経営の推進とガバナンス強化

7-1-5 公有財産の適正管理と有効活用

7-1-2 業務実施手法の見直しと人材育成

7-1-4 財源の確保に向けた取組の強化

7-1-6 情報発信の強化と I C T の活用

しごとの創生：資源（ひと・温泉）をいかして新たな価値を創り、儲かる別府に進化する。

しごとの創生：多様性と受容性をいかして、別府に新しいひとの流れをつくり、受け入れる。

ひとの創生 ひとを大切に、別府で子どもを産み、育て、生きる。

まちの創生 ひととまちをまもり、地域と地域が連携する。